

# 岡山市 地球温暖化対策 実行計画(改訂版)

概要版

岡山市  
2021年6月

# 1. 計画の基本的事項

## ■ 計画の位置づけ・目的

- ・本計画は、「第2次環境基本計画」における地球温暖化対策分野の個別計画として策定しました。
- ・法的には、「地方公共団体実行計画(区域施策編)」と、「地域気候変動適応計画」に位置づけられます。
- ・岡山市における温室効果ガスの排出抑制や、気候変動適応等を推進することを目的とします。

## ■ 対象範囲

- ・対象：市民・事業者・行政など市内全ての活動
- ・削減対象の温室効果ガス：7種類（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等4ガス）

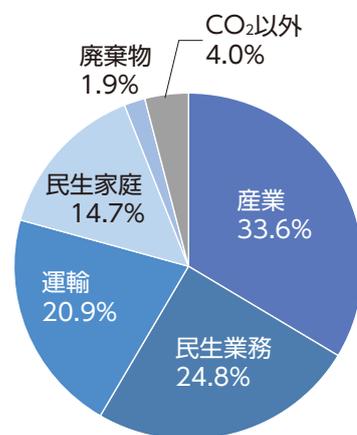
## ■ 計画期間・基準年度

- ・**計画期間：2016～2025年度**
- ・温室効果ガス目標に関する基準年度：2013年度

# 2. 岡山市における現状

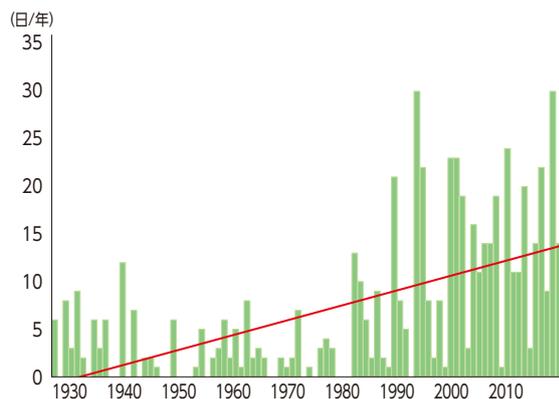
## ■ 温室効果ガス総排出量

- ・基準年度（2013年度）における総排出量：6,476千t-CO<sub>2</sub>
- ・排出源別では、産業部門（工場等）からの排出が最も多く、民生業務部門（店舗等）、運輸部門、民生家庭部門と続きます。
- ・ガス種別では、二酸化炭素が全体の約96%を占めています。
- ・2016年度の総排出量は、基準年度に対し約4%減少しました。

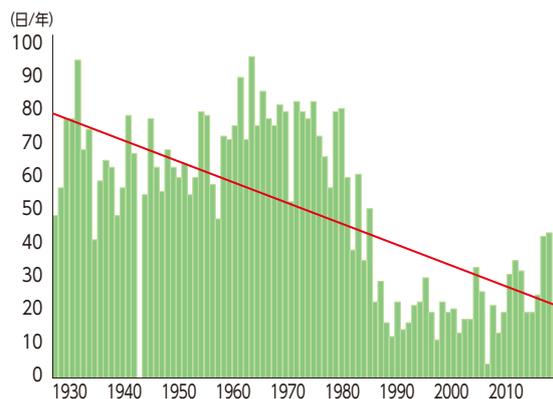


## ■ 気候の変化

- ・年平均気温：上昇傾向 ↗
- ・猛暑日（最高気温35℃以上の日）の日数：増加傾向 ↗
- ・冬日（最低気温0℃未満の日）の日数：減少傾向 ↘



【猛暑日の年間日数推移】



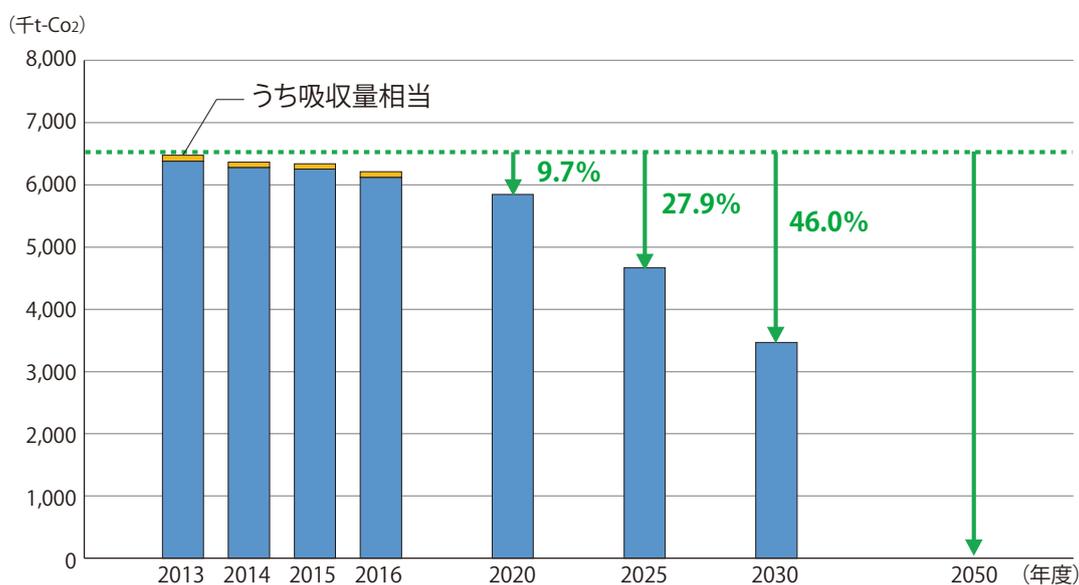
【冬日の年間日数推移】

(資料)気象庁

# 3. 岡山市の温室効果ガス削減目標

基準年度(2013年度)の岡山市における温室効果ガス総排出量に対し

- 短期目標 (2020年度目標) : 9.7%削減
- 中期目標 (2025年度目標) : 27.9%削減
- (2030年度目標) : 46.0%削減
- 長期目標 (2050年度目標) : 実質排出量ゼロ



【温室効果ガス削減目標】

## コラム

- 地球温暖化対策は大きく、**「緩和策」**と**「適応策」**に分けられます。
- 緩和策は、地球温暖化の進行を抑えるための取組です。(省エネなど)
- 適応策は、気候変動の影響による被害を回避・軽減するための取組です。(熱中症予防のための水分補給など)
- 緩和策と適応策は、車の両輪のような関係であり、どちらも非常に大切です。



【緩和と適応の関係】

(出典)環境省

# 4. 岡山市における地球温暖化対策

## 基本目標 1 : 暮らしと産業の低炭素化に取り組もう

一人ひとりの省エネ行動や、省エネ機器・再生可能エネルギーの導入が大切です。  
市民や事業者が、長期的な視点で製品やサービスを選択するよう意識啓発を行います。

### <基本的施策>

### 産業における低炭素化の推進

### 業務活動における低炭素化の推進

### 市民生活における低炭素化の推進

#### <主な施策>

- ☆エネルギー消費量の「見える化」の促進
- ☆省エネ性能の高い設備や機器の導入促進
- ☆ライトダウンキャンペーン等の実施
- ☆地産地消・フードマイレージの普及
- ☆工場や事業所、住宅への太陽光発電設備の導入促進
- ☆営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の導入促進
- ☆小水力発電やバイオマスエネルギー等の導入促進
- ☆市民共同発電の推進



## 基本目標 2 : 低炭素型まちづくりを進めよう

社会そのものを低炭素化することも必要です。  
建物や交通などの低炭素化とともに、循環型社会や水素社会の実現に向けた取組を推進します。

### <基本的施策>

### 低炭素な建物・まちづくりの推進

### スマートエネルギーの導入推進

### 低炭素な交通施策の推進

### 水素社会の構築

### 循環型社会の構築

#### <主な施策>

- ☆ZEH・ZEBの普及促進
- ☆まちなかLED化の推進
- ☆スマートコミュニティの推進
- ☆コミュニティサイクル「ももちゃり」の運用
- ☆エコドライブの普及促進
- ☆家庭用燃料電池・燃料電池自動車の普及促進
- ☆廃棄物の適正処理の推進



## 基本目標3：協働して低炭素化に取り組もう

個人のお取組から、グループのお取組へ、さらには地域全体での取組を進展させることが望めます。各主体の交流や人材育成を図るとともに、地球温暖化防止に向けた地域力の醸成を推進します。

### <基本的施策>

市役所の環境保全行動の推進

市民・事業者・行政の協働推進

環境教育・環境学習及びESD※の推進

市域を越えた協力の推進

※ESD：持続可能な開発のための教育

### <主な施策>

- ☆市有施設の低炭素化の推進
- ☆岡山市環境パートナーシップ事業の推進
- ☆活動団体間の交流と連携の推進
- ☆環境学習講座の推進
- ☆岡山ESDプロジェクトの推進
- ☆指定都市市長会における連携
- ☆岡山連携中枢都市圏における連携
- ☆産学官の連携



## 基本目標4：気候変動への適応策を進めよう

岡山市においても、様々な分野ですでに気候変動による影響が顕在化しています。将来的に予想される影響もあり、これらを回避・軽減するための取組を推進します。

### <基本的施策>

気候変動への適応策の推進

<岡山市において比較的影響が大きいと考えられる分野>

農業・水産業

水資源

自然生態系

自然災害

健康

市民生活

### <主な施策>

- ☆農業気象技術対策情報の提供
- ☆市民への節水等の呼びかけ
- ☆野生生物情報のデータベース化
- ☆洪水・土砂災害ハザードマップの作成
- ☆止水板設置の推進
- ☆消防署における暑熱順化訓練の実施
- ☆幼稚園などへの冷房設備の設置
- ☆ヒートアイランド対策の推進



# 私たち一人ひとりができる緩和策

## 建物や設備を使うとき

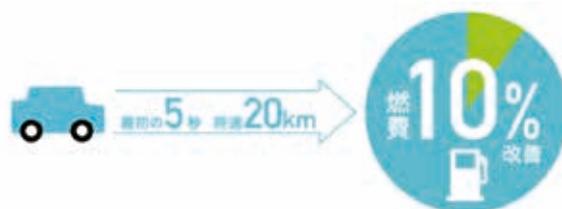
- エネルギー使用量の把握と管理
- 省エネ性能の高い製品の選択
- 排出係数の低い電力会社の選択\*



※電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量は、「電力使用量」×「排出係数」で算出され、電力使用量を減らすほかに、排出係数を小さくすることで、排出量を削減することが可能です。  
排出係数は各電力会社ごとに異なり、環境省が毎年発表を行っています。

## 移動するとき

- 公共交通機関や自転車の利用等による自動車利用の抑制
- アイドリングストップや急発進・急ブレーキの回避などのエコドライブの実践
- 買い替え時における次世代自動車の選択



## そのほか日常生活や事業活動において

- ごみの削減と分別
- リサイクル製品やクレジット付商品等の選択
- 地産地消
- 再配達の防止



## 創エネ関連

- 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入

## 協働関連

- 環境保全活動や環境行政への積極的な参加
- 情報収集

# 私たち一人ひとりができる適応策

## 農業・水産業分野

- 水稻の栽培基本技術の励行
- 作付け時期・作型の調整



## 水資源分野

- 節水
- 雨水の活用



## 自然生態系分野

- 絶滅のおそれのある野生生物の生息・生育環境の保全と回復

## 自然災害分野

- 食料や水、生活必需品の備蓄
- 非常持ち出し袋の準備
- 避難場所や家族との連絡方法の確認
- 防災訓練への参加
- 事業継続計画（BCP）の策定



## 健康分野（蚊等が媒介する感染症の予防）

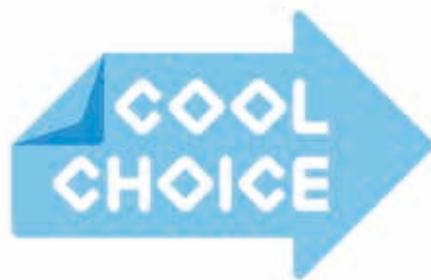
- 露出の少ない服装
- 虫よけスプレーの利用
- 水たまりの除去、清掃



## 健康分野（熱中症予防）・市民生活分野

- 涼しい服装や、日傘・帽子の利用
- 水分や塩分の補給
- 部屋の温度調整
- 屋外での作業の軽労化





未来の  
ために、  
いま選ぼう。

## 岡山市地球温暖化対策実行計画(改訂版)【概要版】

2021年6月

発行 岡山市

編集 岡山市環境局環境部環境保全課

〒700-8554 岡山市北区大供1-2-3

TEL (086) 803-1282

FAX (086) 803-1887

E-mail [kankyohozen@city.okayama.lg.jp](mailto:kankyohozen@city.okayama.lg.jp)

